

① キリストの十字架と復活 - ヨハネの福音書

イントロダクション | 王の十字架

今日の聖書から、第1にイエスが王であるという聖書の一貫したメッセージをまず聞きましょう。イエスが究極的な王であるという真理を心に刻みたいと思います。第2に、私たちはこのイエスの王位を認めなかったり、拒んだりします。かえって自分が王となろうとする傾向があり、それはわたしたちの人生の根本問題です。3番目に、イエスはどのようにして王としての権威を行使し、どのように私たちにに対して王の力を現して、私たちの人生をつくり変えるのでしょうか。それは十字架によってなのです。イエスの王権、王位の篡奪、王の十字架という3点にフォーカスして学びましょう。

聖書 | ヨハネ福音書 19章 1-16節

19:1 そこで、ピラトはイエスを捕らえて、むち打ちにした。 2 また、兵士たちは、いばらで冠を編んで、イエスの頭にかぶらせ、紫色の着物を着せた。 3 彼らは、イエスに近寄っては、「ユダヤ人の王さま。ばんざい」と言い、またイエスの顔を平手で打った。 4 ピラトは、もう一度外に出て来て、彼らに言った。「よく聞きなさい。あなたがたのところにある人を連れ出して来ます。あの人に何の罪も見られないということを、あなたがたに知らせるためです。」 5 それでイエスは、いばらの冠と紫色の着物を着けて、出て来られた。するとピラトは彼らに「さあ、この人です」と言った。 6 祭司長たちや役人たちはイエスを見ると、激しく叫んで、「十字架につけろ。十字架につけろ」と言った。ピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、十字架につけなさい。私はこの人には罪を認めません。」 7 ユダヤ人たちは彼に答えた。「私たちには律法があります。この人は自分を神の子としたのですから、律法によれば、死に当たります。」 8 ピラトは、このことばを聞くと、ますます恐れた。 9 そして、また官邸に入って、イエスに言った。「あなたはどこの人ですか。」しかし、イエスは彼に何の答えもされなかった。 10 そこで、ピラトはイエスに言った。「あなたは私に話さないのですか。私にはあなたを釈放する権威があり、また十字架につける権威があることを、知らないのですか。」 11 イエスは答えられた。「もしそれが上から与えられているのでなかったら、あなたにはわたしに対して何の権威もありません。ですから、わたしをあなたに渡した者に、もっと大きい罪があるのです。」 12 こういうわけで、ピラトはイエスを釈放しようと努力した。しかし、ユダヤ人たちは激しく叫んで言った。「もしこの人を釈放するなら、あなたはカイザルの味方ではありません。自分を王だとする者はすべて、カイザルにそむくのです。」 13 そこでピラトは、これらのことばを聞いたとき、イエスを外に引き出し、敷石（ヘブル語ではガバタ）と呼ばれる場所で、裁判の席に着いた。 14 その日は過越の備え日で、時は第六時ごろであった。ピラトはユダヤ人たちに言った。「さあ、あなたがたの王です。」 15 彼らは激しく叫んだ。「除け。除け。十字架につけろ。」ピラトは彼らに言った。「あなたがたの王を私が十字架につけるのですか。」祭司長たちは答えた。「カイザルのほかに、私たちに王はありません。」 16 そこでピラトは、そのとき、イエスを、十字架につけるため彼らに引き渡した。

考えましょう |

- 1: (1-3,5 節) 今日の聖書においてイエスが王であることはどのように言われていますか？ピラトによる尋問やユダヤ人指導者の告発は否定的なものですが、イエスが王であることはどのように分かりますか？（参考 ヨハネ 18:37）
- 2: あなたにとってイエスが王であることは、自分の人生とこの世界を生きるためにどのような意味がありますか？具体的に分かち合ってみましょう。
- 3: (4, 6, 12 節) ローマ総督ピラトはイエスについてどんな評価を下していますか？それにもかかわらず、イエスを十字架にかけるのはなぜですか？
- 4: ピラトとユダヤ人指導者たちはイエスの王権を否定することによって、どんな問題（罪）を生じさせていますか？もし私たちがイエス（神）の王権を受け入れなければ、どのような問題（罪）が起こりますか？
- 5: (9-11 節) イエスはご自分が否定され、十字架につけられようとする苦境の中で、どのような態度を示していますか？（参考 ヘブル 12:2-3）

- 6: あなたは真理を示して十字架にかけられたイエスのゆえに、苦しみや悲しみの中でどのように対処することができると思いますか？（参考 ティム・ケラー）

読みましょう |

ヨハネ福音書 21 章 15-17 節

18:37 そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりです。わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に来たのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」

ヘブル書 12 章 2-3 節

12:2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。 3 あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。

ティム・ケラー Tim Keller, King's Cross, p.181

イエスは自分の感情を否定せず、また苦しみをも避けませんでした。イエスは苦しみの中で愛したのです。苦しみのただ中で、父なる神を愛して、また、私たちへの愛のために従順に従いました。そのときあなたはこれを見出します。あなたは、自分の願いを否定することなく、また環境を変えるのでもなく、むしろその苦しみの中で父なる神に信頼することができるようになります。

Jesus doesn't deny his emotions, and he doesn't avoid the suffering. He loves into the suffering. In the midst of his suffering, he obeys for the love of the Father — and for the love of us. And when you see that, instead of perpetually denying your desires or changing your circumstances, you'll be able to trust the Father in your suffering. (King's Cross, p181)

祈りましょう |

- ・ 私たちのために十字架の苦しみを耐え忍ばれた王であるイエスをほめたたえましょう。不当な非難やはずかしめの中でも真理をあらわし、私たちの救いの道を開いてくださったキリストへの信仰を新たに感謝しましょう。
- ・ あなたはイエスをどのように王として取り扱っているか思いめぐらしてみましょう。イエスを拒んで王とせず、別の何かを自分の王のようにしていることがあるなら悔い改めましょう。イエスはそのためにご自分を犠牲にして十字架において圧倒的な愛を示してくださいました。

今週～来週のイベント

ランチタイムミーティング（16 霞が関、17 大手町）、お弁当プロジェクト（19）

礼拝 Worship & Fellowship（20）、ロンドンチーム歓迎パーティ（20 午前）、職場の宣教ディスカッション（20 夜）、ハイキング（21）、ランチタイムミーティング（22 九段下・赤坂、23 丸の内・霞が関、24 大手町）、パーティ（24）、受難日 Good Friday 礼拝（25）

イースター礼拝 Worship & Fellowship（27）、グレースキッズイベント（27）